

## 9月の都内経済状況







営業開発部

項目	天気図	コメント
現在の景気動向		9月の都内の景気は、一部に弱い動きも見られるが、緩やかに回復している。百貨店、スーパーの売上は減少し、コンビニエンスストアの売上は増加した。乗用車販売は2ヵ月連続で前年を上回った。住宅着工は2ヵ月ぶりに、公共投資は4ヵ月連続で増加した。輸出は11ヵ月ぶりに前年を上回った。有効求人倍率は3ヵ月ぶりに上昇した。工業生産(8月)は2ヵ月ぶりに前月から増加した。28年度上期の設備投資計画は増加見込みだが、同期の経常利益は減益見込み。
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は弱い動きも散見されるが、引き続き緩やかな回復が期待される。中国など新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。
個人消費	百貨店売上高 	百貨店売上高は、前年同月比▲3.8%と2ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品の主要5品目がいずれも前年を下回った。化粧品は増加基調を維持したが、美術・宝飾・貴金属は景気の不透明感を背景に減少が続いている。
	スーパー売上高 	スーパーの売上高は、前年同月比▲2.7%と5ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。消費者の節約志向に加えて、天候不順や高気温による秋冬物商材の不振などが影響した。
	コンビニ売上(関東) 	関東地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年同月比2.8%増と43ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.8ポイント拡大した(全店ベース)。増加幅の拡大は3ヵ月ぶり。
	乗用車登録台数 	乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比0.6%増と2ヵ月連続で前年を上回った。車種別では、軽乗用車(同▲7.2%)は21ヵ月連続で、小型車(同▲11.7%)は2ヵ月ぶりにそれぞれ前年を下回ったが、普通車(同10.1%増)は2ヵ月連続で前年を上回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比20.1%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。利用関係別では、持家(同▲2.5%)、分譲一戸建て(同▲2.2%)は減少したが、分譲マンション(同68.9%増)、貸家(同12.8%増)が増加した。
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比43.7%増と4ヵ月連続で前年を上回った。発注者別では、国(同▲24.5%)、市区町村(同▲1.5%)は減少したが、独立行政法人(同193.1%増)、東京都(同36.6%増)、地方公社(同2.1%増)が増加した。
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比3.0%増と11ヵ月ぶりに前年を上回った。主要地域別では、アメリカ向け(同▲7.8%)、中国向け(同▲2.4%)、アジアNIEs向け(同▲1.8%)、ASEAN向け(同▲5.5%)はいずれも減少したが、EU向け(同20.9%増)が増加した。
設備投資(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(7~9月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)28年度上期の設備投資計画額は、全規模が前年同期比14.7%増、大企業が同15.2%増、中堅企業が同7.7%増、中小企業が同82.3%増と、いずれの規模層も増加見込みとなっている。
企業収益(法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の28年度上期の経常損益は、全規模(前年同期比▲13.0%)、大企業(同▲13.5%)、中小企業(同▲9.9%)は減益見込み、中堅企業(同2.0%増)は増益見込みとなっている。
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.03倍と前月から0.02ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は3ヵ月ぶり。先行指標とされる新規求人数は前年同月比12.1%増と2ヵ月連続で前年を上回った。南関東の完全失業率は3.0%で、前月から横ばいだった。
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲13.4%と2ヵ月ぶりに前年を下回り、負債総額も同▲87.2%と4ヵ月連続で前年を下回った。1~9月累計の倒産件数を業種別にみると、全体が前年同期比▲6.0%で、小売業(同20.5%増)、飲食店・宿泊業(同13.9%増)、不動産業(同6.1%増)などが増加し、卸売業(同▲5.3%)、サービス業(同▲11.1%)、情報通信業(同▲18.0%)、建設業(同▲5.5%)、製造業(同▲29.2%)などが減少した。
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.3%増と61ヵ月連続で前年を上回り、増加幅も前月から0.3ポイント拡大した。増加幅の拡大は5ヵ月ぶり。

工業生産指数(季調値) ( )は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ( )は前年同月比%	消費者物価指数 ( )は前年同月比%	(一ロメロ) 都市総合ランキング東京は3位に上昇 森記念財団のシンクタンク、都市戦略研究所が発表した「世界の都市総合ランキング」2016年版では、世界の42都市中で東京はパリを抜いて初めて3位となった。経済や研究開発分野での評価が高く、居住でのスコアを伸ばした。1位はロンドン、2位はニューヨーク、パリは4位。
6月 94.3 (▲4.9)	6月 123.5 ( 3.5)	7月 99.5 (▲0.4)	
7月 93.8 (▲6.6)	7月 113.6 ( 2.6)	8月 99.6 (▲0.5)	
8月 96.7 ( 2.2)	8月 118.0 (12.4)	9月 99.7 (▲0.5)	

\*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。\*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
		晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨